

本会議のあらまし

平成19年 第1回定例会

平成19年第1回定例会は、合併後初の選挙によって選出された30人の議員により、3月1日から3月29日まで29日間の日程で開催されました。専決処分報告3件と、条例の廃止4議案、条例の一部改正27議案、規約変更の協議等9議案、平成18年度補正予算10議案、平成19年度予算18議案、人事3議案など71議案が提出され、人事案件を除く一般議案は各所管の常任委員会に、平成19年度予算は予算特別委員会にそれぞれ付託され、71議案はすべて原案のとおり同意、可決されました。また、日豪EPA交渉に関する請願は採択、「日豪EPA交渉に関する意見書」など議員提出議案は2議案とも原案のとおり可決されました。

専決処分の報告

車両、物損、歩行中の各事故について損害賠償額と和解が成立した報告です。

市道の認定と廃止

認定路線19路線は県営ふるさと農道緊急整備事業、県営畑地帯総合整備事業等による道路移管に伴う路線変更、私道の寄付等による認定です。また、廃止路線11路線は前述の各事業等に伴う路線変更、道路の実態がない等による廃止です。いずれも全員一致で可決されました。

財産取得

旧さとり跡地（仮換地の



赤城町上三原田地区の認定道路

地積1847.69㎡が平成18年（ケ）第190号競売事件の特別売却により7700万円取得されるものです。全員一致で可決されました。

条例の一部改正

職員定数条例、税条例、国民健康保険診療所条例、監査委員条例、職員の給与に関する条例、特別会計条例、公園条例、教育研究所設置に関する条例の一部を改正する条例など23議案は全員一致で可決されました。助役定数条例、職員の勤務時間、休暇等に関する条例、国民健康保険税条例、北橋温泉ばんどこの湯条例の一部を改正する条例の4議案は賛成多数で可決されました。証人等の実費弁償に関する条例、監査委員条例、福

地方債の目的と限度額

起債の目的	限度額
まちづくり交付金事業	1億8,750万円
社会福祉施設整備事業	190万円
(仮称) 渋川保健センター建設事業 (合併特例事業)	1億2,800万円
農業農村整備事業	7,680万円
ふるさと農道緊急整備事業	3,590万円
林道整備事業	230万円
急傾斜地崩落対策事業	730万円
臨時地方道整備事業(一般分)	1億4,740万円
臨時地方道整備事業(地方特定分)	1億5,360万円
都市計画事業	270万円
都市公園事業	1,620万円
都市再生区画整理事業	6,300万円
地域情報通信基盤整備事業	1,880万円
防災基盤整備事業(合併特例事業)	1億1,170万円
幼稚園建設事業(合併特例事業)	2億8,560万円
公民館建設事業(合併特例事業)	1億2,200万円
臨時財政対策	10億3,500万円
合計	23億7,590万円

平成18年度

一般会計は4820万9000円の増額補正で、民生費・教育費等を減額し、総務費・土木費・消防費を増額するものです。賛成多数で可決されました。

平成18年度

特別会計補正予算

国民健康保険、老人保健、特別養護老人ホーム事業、農業集落排水事業の各特別会計は増額補正です。介護保険、たちばなの郷城山事業、下水道事業、個別排水処理事業、簡易水道事業の各特別会計は減額補正です。いずれも全員一致で可決されました。



桜花らんまんのたちばなの郷城山

平成19年度予算編成方針（重点的な施策）

- 1 一体性の確立を目指す施策
- 2 市民が合併してよかったと思える施策
- 3 地域の個性を生かした観光ネットワークを目指す施策
- 4 安全安心なまちづくりを進めるための施策
- 5 少子高齢化に対応した施策

平成19年度一般会計予算

一般会計は総額322億5000万円で、前年度と比べ5.7%の減額予算です。

予算編成方針や予算に伴う事業の内容等について活発な質疑がされました。反対・賛成とも討論がなされ賛成多数で可決されました。

各会計予算

項目	今年度予算	前年度予算
一般会計	322億5,000万円	342億100万円
国民健康保険(事業勘定)	92億4,876万円	80億5,390万円
国民健康保険(診療施設勘定)	1億2,556万円	1億2,847万円
老人保健	83億5,677万円	80億4,477万円
介護保険	48億7,329万円	45億6,843万円
特別養護老人ホーム事業	694万円	694万円
農産物直売事業	6,410万円	5,824万円
伊香保温泉観光施設事業	9,597万円	9,529万円
小野上温泉事業	6億4,099万円	1億951万円
交流促進センター事業	2億5,298万円	2億7,845万円
白井温泉こもちの湯事業	3,718万円	3,301万円
たちばなの郷城山事業	1億4,799万円	1億2,675万円
用地先行取得事業	6,255万円	6,377万円
下水道事業	18億8,731万円	18億8,856万円
農業集落排水事業	11億6,342万円	11億6,064万円
個別排水処理事業	5,462万円	1億3,624万円
簡易水道事業	2億1,231万円	2億2,770万円
水道事業会計		
収益的支出	16億8,836万円	19億3,570万円
資本的支出	8億2,094万円	8億7,182万円
病院事業会計		
収益的支出	15億9,506万円	15億9,289万円
資本的支出	6,525万円	3,914万円

平成19年度特別会計予算

水道事業会計は25億930万円で前年度と比べ10.6%の減額、病院事業会計は16億6031万円で増額です。そのほかの特別会計は合計で271億8754万円で、19年度に新築工事を実施する小野上温泉事業

特別会計の増額は特になっていません。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計などで質疑がされました。国民健康保険特別会計については反対、介護保険特別会計については反対・賛

条例の廃止

収入役事務の兼掌に関する条例、市長職務執行者の給与及び旅費支給条例を廃止する条例の2議案は全員一致で可決されました。職員の寒冷手当に関する条例、赤城村学童保育ク

社作業所かえでの園条例の一部を改正する条例の3議案は公布の日から施行され、助役定数条例の一部を改正する条例などそのほか24議案は平成19年4月1日から施行です。

規約変更に関する協議

群馬県市町村会館管理組合、渋川地区広域市町村圏振興整備組合など組合の規約変更に関する協議の4議案は全員一致で可決されました。いずれも平成19年4月1日からの施行です。



新築が待たれる小野上温泉センター

人事案件

教育委員会委員に井兼則氏（北橋町）を任命、監査委員に板倉和男氏（阿久津）を選任、人権擁護委員に堀口俊子氏（渋川）を推薦することがそれぞれ同意されました。選任による農業委員に、中野八重子氏（中村）、石坂美保子氏（上白井）、南雲秀雄氏（赤城町）、森田智子氏（北橋町）の4の方が推薦されました。